

河川局砂防部  
平成23年5月23日  
15時00分現在

## 東日本大震災における土砂災害への対応について

### 1. 土砂災害の発生状況

< 土砂災害発生件数 >

【東北地方太平洋沖地震】計 95 件【死者 19 名】

【長野県北部地震】 計 23 件

【静岡県東部地震】 計 3 件

合計 121 件【死者 19 名】 (12 県もの広範囲で発生)

上記の他、多数の山腹崩壊あり。

上記の他、岩手県沿岸部では山火事による被害あり。

- ・「岩手・宮城内陸地震 (H20)」や「新潟中越地震 (H16)」で天然ダムが発生した箇所については大きな変状なし。
- ・ヘリ調査等の現地調査の結果、新たな天然ダムの発生は見られなかった。

### 2. 当面の対応

砂防関連施設の点検

直轄事務所 1, 952 箇所 点検完了

17 都県 4, 340 箇所

( 予定箇所 4, 352 箇所のうち、99% の進捗 )

- ・ 県管理施設の一部に変状を確認。
- ・ 点検時に変状が見られた箇所については随時応急対策を実施。

土砂災害危険箇所等の点検

- ・ 点検の実施にあたっては、TEC-FORCE による県への支援を実施。
- ・ 5月22日現在、震度5強以上を観測した市区町村を有する17都県のうち、積雪等で点検不可能な箇所を除き 16 都県において点検を実施済み。  
( 点検対象箇所 33,276 箇所のうち、29,571 箇所 (約 89%) の進捗 )
- ・ 点検時に変状が見られた箇所については随時応急対策を実施。
- ・ 点検結果は住民に情報提供し、住民の問合せ相談窓口の情報を周知。

#### 土砂災害警戒情報等発表基準の暫定的運用

- ・土砂災害警戒情報の発表基準を通常基準よりも引き下げ、気象庁と連携し、震度5強以上観測した17都県240市区町村において暫定的に運用。
- ・地域住民に土砂災害の危険度が高くなる見込みであることを、地震発生前と比較し、きめ細かに周知。  
17都県240市区町村の土砂災害危険箇所約5万箇所には約85万人が生活（域内人口約2,500万人）

#### 施設等による対策

震災による土砂の崩壊等が発生した一連の地区に対し、出水期までの応急対策に引き続き、再度災害を防止するための抜本的な土砂災害対策を実施。災害関連緊急事業11件採択、事業実施。

平成23年度補正予算

- ・砂防設備、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設の整備を実施。  
（事業費：2,600百万円）

### 3 . 今後の対応

被災地の復興のため、安全・安心なまちづくりと一体となった土砂災害対策を実施。

土石流危険渓流等の土砂災害の恐れの高い渓流等において、砂防設備等の整備。

# 栃木県那須烏山市等で発生した土砂災害に対して 災害関連緊急地すべり対策事業等 を実施します

栃木県那須烏山市、高根沢町において、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により発生した土砂災害に対し、栃木県が、緊急的にアンカー工、吹付砕工等の対策事業を3箇所を実施します。  
(事業費:約11.5億円)

## 位置図



## 【地震概要】

発生日時 平成23年3月11日 14時46分頃  
マグニチュード 9.0 (暫定値)  
場所および深さ 三陸沖、深さ約24km(暫定値)

震度6弱以上を観測した地域

震度7 宮城県  
震度6強 福島県、茨城県、栃木県  
震度6弱 岩手県、群馬県、埼玉県、千葉県



## 高根沢町 へいわだい 平和台地区

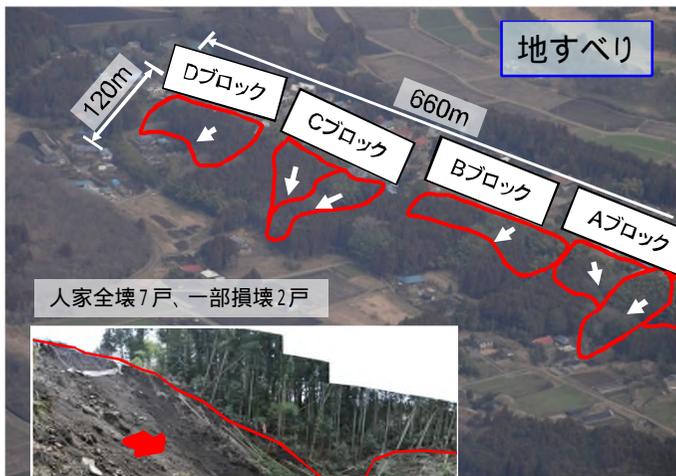


崩壊地末端部状況



頭部亀裂発生状況

## 高根沢町 かがみかしのざき 上柏崎地区



地すべりブロック内状況



地すべりブロック内崩壊発生状況



地すべりブロック末端部状況

# 災害関連緊急砂防等事業一覧

実施箇所	事業別	事業費 (億円)
新潟県十日町市大畑地区	地すべり	約1.6
新潟県十日町市小谷地区	地すべり	約2.4
新潟県中魚沼郡津南町辰ノ口地先トヤ沢	砂防	約3.4
新潟県中魚沼郡津南町田中地区	地すべり	約1.0
新潟県中魚沼郡津南町正面地区	急傾斜	約1.8
福島県福島市高清水地区	地すべり	約5.4
福島県白河市葉ノ木平地区	地すべり	約2.5
福島県いわき市上ノ台地区	地すべり	約0.6
栃木県那須烏山市川西地区	地すべり	約1.6
栃木県塩谷郡高根沢町上柏崎地区	地すべり	約7.9
栃木県塩谷郡高根沢町平和台地区	急傾斜	約2.1
合計 11箇所		約30.3